



日本と韓国 NGO 共同作戦 第 3 次チョコパイ空輸作戦を実施

北朝鮮政治犯収容所解体運動本部 政策チーム長 柳 智殷

ミサイル 1 発の節約が北朝鮮国民を救う！

北朝鮮難民救援基金と韓国の NGO 北朝鮮政治犯収容所解体運動本部は、6月16日京畿道坡州に於いて北朝鮮に向けて第3次「チョコパイ空輸作戦」を行った。

1袋に4~5kgのチョコパイと共に名刺大のメッセージ「ミサイル1発で北朝鮮国民が1年間食べられる。不足分だけなら2年間食べられる」も一緒に送り出した。



風船、荷の中身は第1回作戦を報じた NEWS76 号表紙、6P の写真を参照

そのためには風船も非常に大きくしなければならず、9~12M の筒状のビニール袋に水素を注入して風船を作る。これまで風船の飛昇は風向きが良い 4~10 月を選んで行われている。

チョコパイ空輸事業は多くの準備と機動

性と細心の注意を要する作業が続く。風船の素材のビニールが、非常に薄いために小さな傷でも穴が開きやすいからだ。ビニールを裁断する準備作業をする時も、非常に気を付けて作業をしなければならない。

今回は日本の NGO から 2 人参加し準備作業を行った。

次は作戦の実施だが、風向がいつ変わるかも知れないために常に予報に注目し、風向が合う時、直ちに発射できるように待機し、機動性を高めている。現場での作戦に参加する会員たちはチョコパイを風船に括り、水素を注入するなどの作業を分担して行う。5月に行う予定のチョコパイ作戦は、風向が合わず、やむを得ず今回まで延期された。

チョコパイ 1 個が米 1 キロに値する高価値

北朝鮮に送る食物にチョコパイを選定した理由は、常温でも長く保管が可能で、味も良く、カロリーも高い栄養食品であり、そのうえ北朝鮮で貨幣として代用できるからだ。何しろチョコパイ 1 個が米 1kg に代わる。より良い食物を送ることを考えているが、北朝鮮住民に最も助けになる食品を探してチョコパイを選定した。チョコパイの包装紙には「情」という漢字表記があり、北朝鮮住民に暖かい心を送るという象徴的な意味があり、チョコパイは非常に適切だというのが選択した理由だ。

チョコパイ作戦参加者を募っています！

私たちの小さな助けが北朝鮮住民たちの空腹を少しでも満たし、傷付いた心までもいやすことができれば幸いと願っている。

次回作戦は 9 月の風向きの良い日を選んで行う。募金、作業要員など興味に従って作戦に参加されるよう希望している。

連絡は北朝鮮難民救援基金まで。

Tel/Fax : 03 - 3815-8127